

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立遠里小野小学校

学校

児童数

24

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.64	20.93	29.29	38.93	38.64	9.96	149.07	21.46	49.85
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.33	18.22	33.56	36.33	35.78	10.27	135.22	13.44	51.11
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における体力合計点を全国平均と比べると、男女とも大阪市平均・全国平均を下回ると結果となった。

実施種目別にみると、男女とも『握力』『長座体前屈』『50m走』で大阪市平均・全国平均を下回る結果となった。遠里小野小学校の児童が筋力や柔軟性、素早さに課題があることが浮き彫りとなった。一方で、男女とも『ソフトボール投げ』で大阪市平均・全国平均を上回る結果となった。

児童質問紙調査の「運動やスポーツすることは好きですか。」の質問に対する肯定的な回答が男女とも高く（男子100%・女子77.8%）、体を動かすことの好きな児童が多いことがわかった。そのため、1週間の総運動時間も男女とも大阪市・全国平均を上回る結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

遠里小野小学校では、令和2年度から『体力強化月間』を定め、体力の向上に取り組んできている。令和7年度はドッジボール（11月～12月）、短縄・大縄（1月）、マラソン（2月）の取り組みを行った。これらの継続した取り組みにより、ソフトボール投げ（巧緻性・筋力）ではある一定の成果が表れたと言える。

しかし、体力テストのほとんどの実施種目で大阪市平均・全国平均を下回った結果をみると、体力向上の取り組みの成果（持久力や素早さ）が十分に表れているとは言えない。令和7年度の結果を分析し、体力向上の取り組み内容や実施方法の検討を行っていく必要がある。また、運動量の確保を念頭に置いた体育科の授業の構築も急務の課題である。

